

自由課題:緩和ケア外来初診数
(平成29年7月1日~12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
14 大阪赤十字病院	30名	医局会を通じた各科医師への働きかけ、師長会での周知、スクリーニングの積極的実施と患者さんへの啓蒙	結果:46件	目標を大幅に上回る結果となった。院内については今後も継続的に医局会を通じた各診療科医師への働きかけと患者スクリーニングの実施、師長会などでの周知を行い、院外に向けては当院のHPで緩和ケア外来の紹介を行うなどして患者さんにも緩和ケア外来について知ってもらう機会を増やしていく
18 市立池田病院	15件	外来で診療できる場合は、症状が軽度であり緩和ケアチームへの紹介は尚早と考える医師が多いが、早期に緩和ケアが関わることのメリットを周知し、看護師薬剤師などからも緩和ケア外来への紹介を促していただけるよう働きかけを行った。	19件 痛みなどの苦痛症状がある場合など外来医師や看護師から相談があり、外来での緩和ケアの提供につながった。	患者や家族への、緩和ケアは早期から誰でも受けることができることの周知を引き続き行う。医師をはじめ多職種へ緩和ケア外来へのご紹介を促していただける働きかけを継続する。
32 若草第一病院	10件	・開業医や他病院からの紹介数 上記からの緩和ケア外来の紹介者を紹介状を通して把握 受診日又は必要にあわせて面談を受診前に行い、患者家族の思いを確認する すみなれた場所でできる限り生活できるように支援。必要にあわせ情報提供、サービス調整を行う	10件 目標達成	継続
37 ベルランド総合病院	100件	・紹介患者の積極的受け入れと円滑な地域連携体制の構築 ・上記のための病院訪問実施	84件	前年度から医師が2人体制から1人体制になったにも関わらず、前年度比較で約20%の増加である。紹介から受診までの時間もほぼ1週間以内の予約も行っているが、院外からの紹介患者は状態がかなり悪い場合が多く、そのため外来受診に至らないケースも至っても、転院に至らないケースも散見された。その対策としては、治療終了後からの外来紹介ではなく、レイトラインの化学療法時点からの外来受診の必要性を院内外ともに周知することが必要と考えた。